2026年３月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年２月９日

上場会社名　シンデン・ハイテックス株式会社　　上場取引所　東
コード番号　3131　ＵＲＬ　https://www.shinden.co.jp/
代表者　（役職名）代表取締役社長　（氏名）鈴木　淳
問合せ先責任者　（役職名）常務取締役　（氏名）田村　祥　ＴＥＬ　03-3537-0101
配当支払開始予定日　－
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無　：無

（百万円未満切捨て）

１．2026年３月期第３四半期の連結業績（2025年４月１日～2025年12月31日）

（１）連結経営成績（累計）　（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年３月期第３四半期	30,448	△6.6	706	△13.6	377	△26.7	252	△28.4
2025年３月期第３四半期	32,602	2.0	817	△6.8	515	12.0	353	14.1

（注）包括利益　2026年３月期第３四半期　194百万円（△50.5％）　2025年３月期第３四半期　392百万円（8.7％）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年３月期第３四半期	134.03	－
2025年３月期第３四半期	181.36	－

（注）潜在株式調整後１株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	％	円 銭
2026年３月期第３四半期	19,172	7,363	38.4	3,906.01
2025年３月期	16,636	7,404	44.5	3,927.90

（参考）自己資本　2026年３月期第３四半期　7,363百万円　2025年３月期　7,404百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年３月期	－	0.00	－	125.00	125.00
2026年３月期	－	0.00	－		
2026年３月期（予想）				130.00	130.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

３．2026年３月期の連結業績予想（2025年４月１日～2026年３月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	43,800	0.1	1,150	△17.9	800	△14.0	550	△14.4	291.76

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

（注）　連結範囲の重要な変更には該当しておりませんが、第１四半期連結会計期間においてSDT THAI CO., LTD.は会社清算手続きにより2025年６月に残余財産の分配が完了し、2025年７月に清算結了となったため同社を連結の範囲から除外しております。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：無

② ①以外の会計方針の変更　：無

③ 会計上の見積りの変更　：無

④ 修正再表示　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年３月期３Ｑ	2,110,200株	2025年３月期	2,110,200株
② 期末自己株式数	2026年３月期３Ｑ	225,081株	2025年３月期	225,039株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年３月期３Ｑ	1,885,132株	2025年３月期３Ｑ	1,946,825株

※　添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料Ｐ．４「１．経営成績等の概況（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当四半期の経営成績の概況 …… 2
（２）当四半期の財政状態の概況 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 4
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 5
（１）四半期連結貸借対照表 …… 5
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
（セグメント情報等の注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8
（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記） …… 8

１．経営成績等の概況

（１）当四半期の経営成績の概況

当第３四半期連結累計期間におけるわが国経済は、一部に足踏みが残るものの、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果を背景に緩やかな回復基調を維持しました。一方で、米国の通商政策をはじめとする外需の不確実性や物価上昇に伴う消費者マインドの冷え込みなど、景気を下押しする要因も引き続き見られました。

当社グループが属するエレクトロニクス業界は、ＡＩ関連を中心に旺盛な半導体需要によってグローバル市場は総じて拡大基調で進みました。一方、国内では中国景気の停滞や産業用・車載向け需要の鈍化などの影響を受け、電子部品の受注は引き続き力強さを欠く状況が続き、ＰＣやスマートフォン向けなどＩＴ関連も海外需要の回復は限定的でした。また、半導体につきましては、従来型メモリーの需給逼迫が依然として続いており、顧客の生産計画に影響を及ぼす要因として注視しております。また、先端半導体領域に関連する設備投資は比較的堅調に推移していますが、一般電子部品、家電、一部車載分野では回復の遅れなど、ばらつきが見られました。

このような情勢の下、当社グループは、当事業年度を2021年３月期より推進している「収益構造改革」の総仕上げの最終年度と位置づけとしています。その中で、既存ビジネスの維持拡大に加え、データセンターやＡＩ等をはじめとするデジタル・トランスフォーメーション（ＤＸ）分野や、グリーン・トランスフォーメーション（ＧＸ）に関連する社会的投資の拡大している分野等、成長市場への取組みを積極的に行っております。

当第３四半期連結累計期間における販売面は、ディスプレイおよびシステム製品分野の増収が下支えする一方、半導体製品分野ならびにバッテリー＆電力機器分野が弱含み、前年同期比では減収となりました。利益面では、上期の円高進行の影響によるドル建取引の原価率上昇が売上総利益の圧迫要因となりました。また、販売費及び一般管理費を概ね抑制したものの、売上総利益の減少が営業利益に影響しました。経常利益以下の指標においては、為替差損の計上があった一方で、ドル金利低下に伴う支払利息の減少により、前年同期比で営業外損益への影響は軽微となりましたが、営業利益の減少が影響し減益となりました。

その結果、売上高は304億48百万円（前年同四半期比6.6％減）、営業利益は７億６百万円（前年同四半期比13.6％減）、経常利益は３億77百万円（前年同四半期比26.7％減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は２億52百万円（前年同四半期比28.4％減）となり、主要指標は前年同四半期比ではなお減少しているものの、第２四半期までの水準に比べて下げ幅は縮小しており、足元では業績が持ち直しつつあります。

品目別売上高は、次のとおりであります。

品目別	前第３四半期連結累計期間 （自　2024年４月１日 至　2024年12月31日）		当第３四半期連結累計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年12月31日）		増減率 （%）
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	
半導体製品	22,318,701	68.5	19,077,733	62.7	△14.5
ディスプレイ	4,918,603	15.1	5,402,388	17.7	9.8
システム製品	3,895,351	11.9	4,730,090	15.5	21.4
バッテリー＆電力機器	1,268,650	3.9	1,027,311	3.4	△19.0
その他	200,833	0.6	211,140	0.7	5.1
合計	32,602,141	100.0	30,448,664	100.0	△6.6

（注）当社グループの事業は、半導体製品等の電子部品や電子機器の販売という単一事業であるため、品目別の売上高を記載しております。

・半導体製品分野
　従来型メモリー関連商材の供給制約の継続に加え、当初想定していた一部車載向けビジネスの商流移管、さらに前年のファウンドリビジネスの反動減が影響し、減収となりました。
・ディスプレイ分野
　テレビ・ＰＣ向け液晶ディスプレイモジュールの需要増加や有機ＥＬ案件の進捗に加えて、完成品としての液晶ディスプレイの販路拡大が寄与し、増収となりました。
・システム製品分野
　検査等装置およびＥＭＳ（Electronics Manufacturing Service：製品の開発・生産を受託するサービス）ビジネスが堅調に推移したことに加え、ＡＩサーバーのメーカーラインナップ強化により小規模案件の獲得が進み、増収となりました。
・バッテリー＆電力機器分野
　主力の家庭用蓄電システム向けビジネスが減少し、減収となりました。
・その他分野
　省エネルギーや環境負荷低減に資する商材等の提案強化による拡販が進み、増収となりました。

セグメントの経営成績は、次のとおりであります。
（日本）
　当第３四半期連結累計期間は、ディスプレイおよびシステム製品分野の増収が下支えしましたが、半導体製品およびバッテリー＆電力機器分野の弱含みのため、売上高は291億48百万円（前年同四半期比4.7％減）となり、セグメント利益は７億57百万円（前年同四半期比12.4％減）となりました。
（海外）
　当第３四半期連結累計期間は、中国向けビジネスの低迷により、売上高は13億円（前年同四半期比35.1％減）となりました。しかし、今後のビジネスを見据えた運営の効率化を推進し、セグメント損失は26百万円（前年同期は54百万円のセグメント損失）と改善しました。

（２）当四半期の財政状態の概況
①　資産
　総資産は191億72百万円となり、前連結会計年度末に比べ25億36百万円（15.2％）増加しました。主な要因は、現金及び預金が13億15百万円（20.0％）減少しましたが、商品が22億77百万円（99.1％）、売掛金が９億48百万円（12.9％）増加したことによるものであります。

②　負債
　負債は118億９百万円となり、前連結会計年度末に比べ25億78百万円（27.9％）増加しました。主な要因は、有利子負債が16億19百万円（27.1％）、買掛金が９億92百万円（40.1％）増加したことによるものであります。

③　純資産
　純資産は73億63百万円となり、前連結会計年度末に比べ41百万円（0.6％）減少しました。主な要因は、為替換算調整勘定が58百万円（43.9％）減少したことによるものであります。

④　経営指標
　流動比率は、買掛金、短期借入金の増加等により前連結会計年度末に比べ12.2ポイント減少し165.7％となりました。自己資本比率は、買掛金、有利子負債の増加等により、前連結会計年度末に比べ6.1ポイント減少し38.4％となりました。有利子負債対純資産比率は1.0倍となり、前連結会計年度末と比べ0.2ポイント増加しました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第３四半期連結累計期間における業績は、2025年11月11日公表時点の見通しの範囲内で推移しており、当社グループの連結業績予想につきましては、同公表の「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」から変更はありません。

なお、当第３四半期末に計上された為替差損につきましては、期末時点のドル建て債権・債務のネットポジションに起因した一時的な評価影響であり、特殊要因として認識しております。

当社グループは第４四半期に比較的規模の大きなビジネスを予定しており、その進捗に伴いドル建て債権・債務のネットポジションは縮小していく見込みであることから、期末に向けて為替差損は一定程度圧縮されるものと考えております。

第４四半期においては、為替相場における円安進行や、メモリーの供給動向を背景とした価格上昇など、プラスに作用する外部環境が見込まれる一方、国内外の景気および需要動向には引き続き不透明感が残っています。こうした状況を踏まえ、現時点では前回公表の通期連結業績予想を据え置き、その達成に向けて注力してまいります。

引続き業績見通しの精査を適宜行い、開示すべき事項が判明した場合、速やかにお知らせいたします。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2025年３月31日)	当第３四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,591,845	5,276,751
電子記録債権	37,522	118,117
売掛金	7,346,372	8,294,406
商品	2,299,166	4,576,798
その他	200,508	687,571
貸倒引当金	△145,602	△169,303
流動資産合計	16,329,813	18,784,341
固定資産		
有形固定資産		
工具、器具及び備品（純額）	12,767	8,941
土地	－	5,000
建設仮勘定	－	79,200
その他（純額）	6,522	5,023
有形固定資産合計	19,289	98,165
無形固定資産		
ソフトウエア	5,678	4,358
権利金	－	70,000
その他	1,311	1,311
無形固定資産合計	6,990	75,669
投資その他の資産		
投資有価証券	25,000	35,000
差入保証金	51,829	51,106
繰延税金資産	187,382	123,526
その他	32,176	5,000
貸倒引当金	△16,449	－
投資その他の資産合計	279,939	214,633
固定資産合計	306,219	388,468
資産合計	16,636,032	19,172,809
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,476,321	3,468,916
短期借入金	5,681,760	7,045,200
１年内返済予定の長期借入金	237,916	72,800
未払法人税等	297,280	5,190
賞与引当金	85,528	35,134
その他	402,484	710,948
流動負債合計	9,181,290	11,338,191
固定負債		
長期借入金	48,803	469,680
その他	1,216	1,649
固定負債合計	50,019	471,329
負債合計	9,231,310	11,809,520
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,438,519	1,438,519
資本剰余金	1,418,499	1,418,499
利益剰余金	4,901,269	4,918,284
自己株式	△486,414	△486,543
株主資本合計	7,271,873	7,288,760
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	132,848	74,528
その他の包括利益累計額合計	132,848	74,528
純資産合計	7,404,722	7,363,288
負債純資産合計	16,636,032	19,172,809

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　2024年４月１日 至　2024年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年12月31日）
売上高	32,602,141	30,448,664
売上原価	30,022,386	28,045,524
売上総利益	2,579,754	2,403,139
販売費及び一般管理費	1,761,856	1,696,357
営業利益	817,898	706,782
営業外収益		
受取利息	15,253	28,328
為替差益	60,845	－
償却債権取立益	17,408	－
その他	4,448	5,802
営業外収益合計	97,954	34,131
営業外費用		
支払利息	380,378	229,193
債権売却損	18,043	23,832
支払手数料	1,012	498
為替差損	－	104,723
その他	902	4,818
営業外費用合計	400,336	363,066
経常利益	515,516	377,846
特別利益		
関係会社清算益	－	19,455
特別利益合計	－	19,455
税金等調整前四半期純利益	515,516	397,302
法人税、住民税及び事業税	216,009	109,122
法人税等調整額	△53,575	35,520
法人税等合計	162,433	144,642
四半期純利益	353,082	252,660
親会社株主に帰属する四半期純利益	353,082	252,660

（四半期連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　2024年４月１日 至　2024年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年12月31日）
四半期純利益	353,082	252,660
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	39,865	△58,320
その他の包括利益合計	39,865	△58,320
四半期包括利益	392,948	194,340
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	392,948	194,340
非支配株主に係る四半期包括利益	－	－

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（セグメント情報等の注記）

Ⅰ　前第３四半期連結累計期間（自　2024年４月１日　至　2024年12月31日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	日本	海外	計		
売上高					
外部顧客への売上高	30,598,445	2,003,695	32,602,141	―	32,602,141
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,046,089	892	2,046,982	△2,046,982	―
計	32,644,535	2,004,588	34,649,123	△2,046,982	32,602,141
セグメント利益又は損失（△）	865,080	△54,509	810,570	7,327	817,898

（注）１．セグメント利益又は損失の調整額は、未実現損益の消去等によるものであります。
２．セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間（自　2025年４月１日　至　2025年12月31日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	日本	海外	計		
売上高					
外部顧客への売上高	29,148,621	1,300,043	30,448,664	―	30,448,664
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,215,518	―	1,215,518	△1,215,518	―
計	30,364,140	1,300,043	31,664,183	△1,215,518	30,448,664
セグメント利益又は損失（△）	757,857	△26,055	731,801	△25,019	706,782

（注）１．セグメント利益又は損失の調整額は、未実現損益の消去等によるものであります。
２．セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第３四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第３四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第３四半期連結累計期間（自　2024年４月１日　至　2024年12月31日）	当第３四半期連結累計期間（自　2025年４月１日　至　2025年12月31日）
減価償却費	11,716千円	9,295千円